

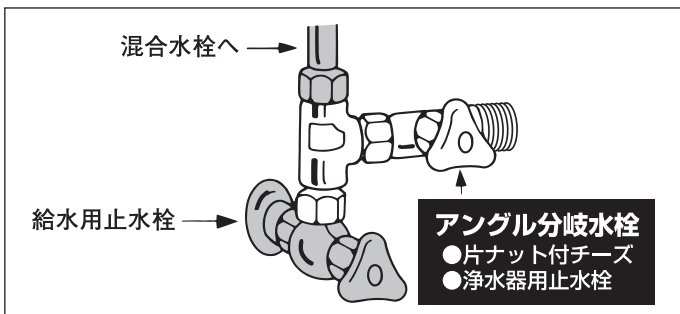




## 注意 水圧点検

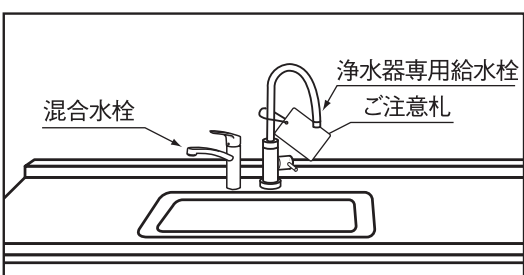
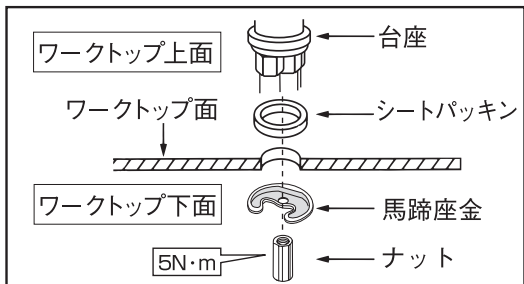
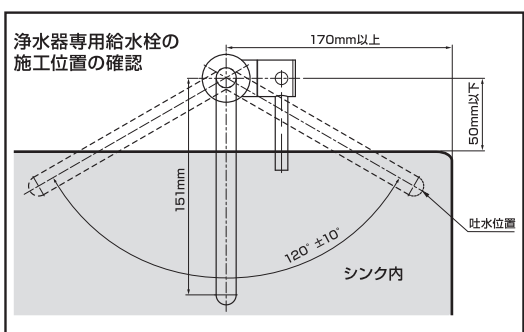
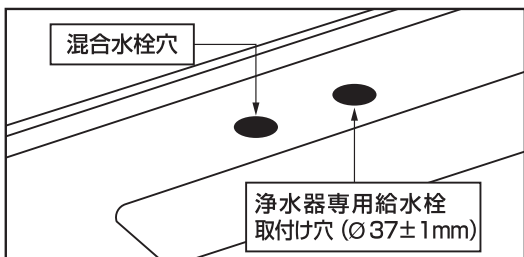
●この浄水器の使用可能水圧は0.1~0.75MPa(1.0~7.6kgf/cm<sup>2</sup>)です。それより高い場合は水用減圧弁を取付けてください。

## 1 水道工事



●流し台シンクキャビネット内の、給水用止水栓の上部を片ナット付チースで分岐して、給水取出しを設け、浄水器用止水栓を取付けてください。  
※給水用止水栓からの給水取出しが不可能な場合は、別途設けてください。

## 2 浄水器専用給水栓の取付け方法



1 浄水器専用給水栓の取付け穴(φ37±1mm)を流し台ワークトップに開けてください。穴位置は混合水栓の使用に影響のない位置に開けるとともに、後付けの場合はお客様のご要望をお確かめのうえ、決定してください。

注意 ワークトップが大理石、人造大理石、ホーローなどの場合、無理に穴を開けようとすると、ワークトップが破損することがあります。

注意 浄水器専用給水栓は、5~30mmの厚みのワークトップに据付けてください。

2 図のように固定金具の順をお確かめのうえ、浄水器専用給水栓をワークトップに固定してください。  
※浄水器専用給水栓本体の開閉レバーの向きは、お客様のご要望をお確かめのうえ、決定してください。

注意 台座、シートパッキンは水栓本体から取りはずさず、必ずワークトップ上面に取付けてください。

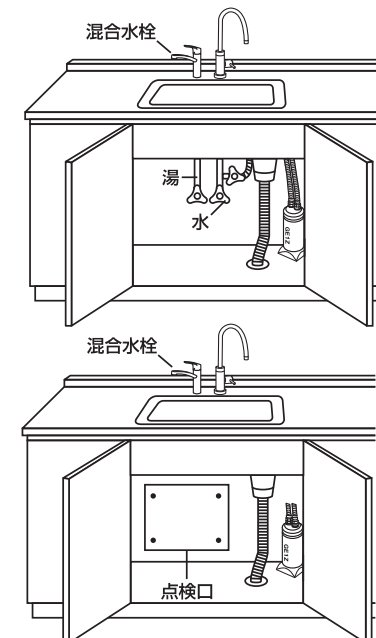
3 浄水器専用給水栓のナット固定は、2面幅13mmの締付工具を使用して、確実に締めてください。締付トルクの目安は5N・mです。

注意 台座部がワークトップ上面に対して斜めにならないようにしてください。ワークトップ上面が斜めになっていると、ワークトップ下面に漏水して家財などをぬらすおそれがあります。

4 浄水器専用給水栓に「ご注意札」を取付けてください。

## 3 浄水器カートリッジの設置方法

### ●施工できるキッチンのタイプ

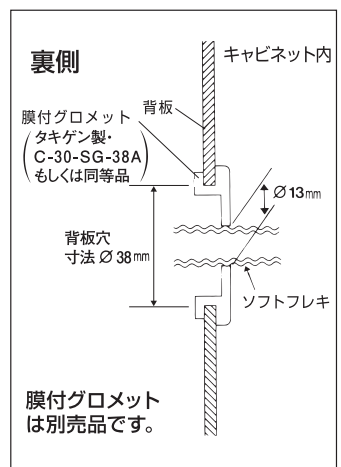


止水栓露出配管の場合  
止水栓より配管・施工できます。

点検口付配管の場合  
点検口より配管可能であれば施工できます。

※浄水器カートリッジは必ず左図のように取付けてください。

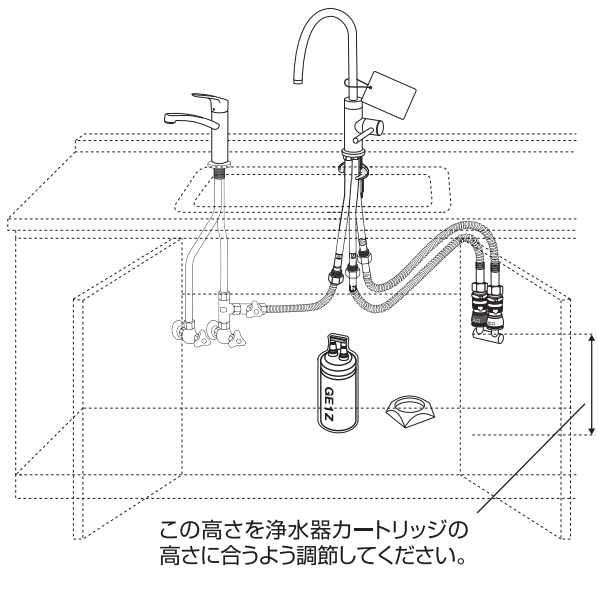
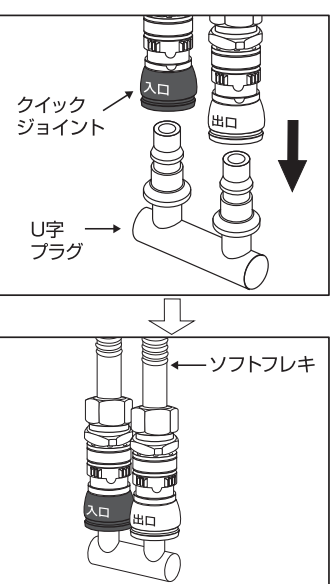
### ●点検口付配管のときは…



- 1 背板にφ38mmの穴を開けてください。
- 2 膜付グロメットにφ13mmの穴を開けてください。
- 3 膜付グロメットを背板に開けた穴に左図のように取付けてください。
- 4 ソフトフレキを膜付グロメットφ13mmの穴に通してください。  
※膜付グロメットを使用して背板とソフトフレキの隙間をなくします。

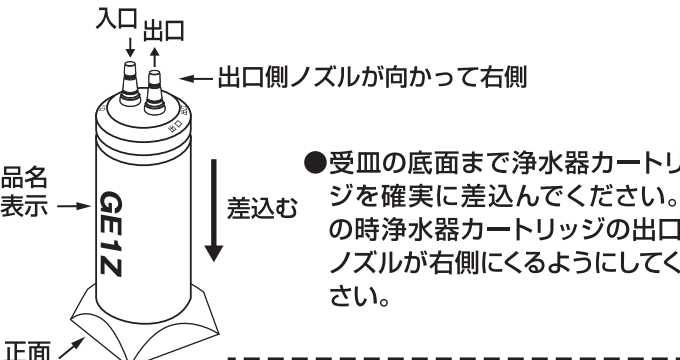
## U字プラグを使用する場合

浄水器据付け後、実際にご使用されるまでの期間が長い場合は、浄水器カートリッジの衛生を保つために、取付工事の際、浄水器カートリッジの代わりに、「U字プラグ」を接続してください。



- U字プラグを使用する場合、以後の施工手順では「浄水器カートリッジ」を「U字プラグ」として読替えて工事してください。
- ⑥のろ過流量の調節は必要ありません。
- 浄水器カートリッジは包装袋を開封せず、そのままシンク下に保管してください。
- 受皿もシンク下に保管してください。

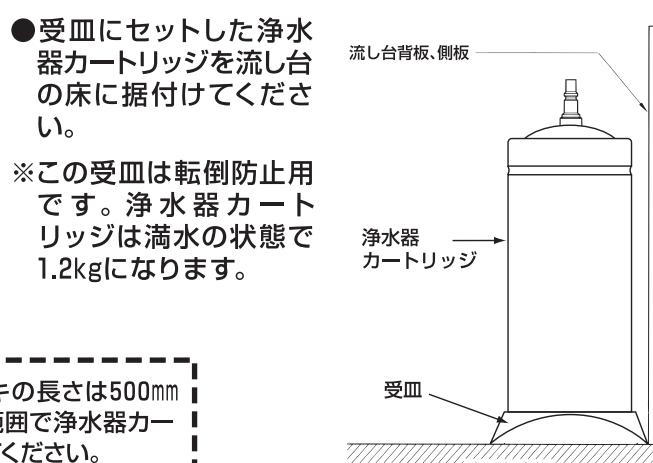
### 1 浄水器カートリッジの受皿への据付



●受皿の底面まで浄水器カートリッジを確実に差込んでください。その時浄水器カートリッジの出口側ノズルが右側にくるようにしてください。

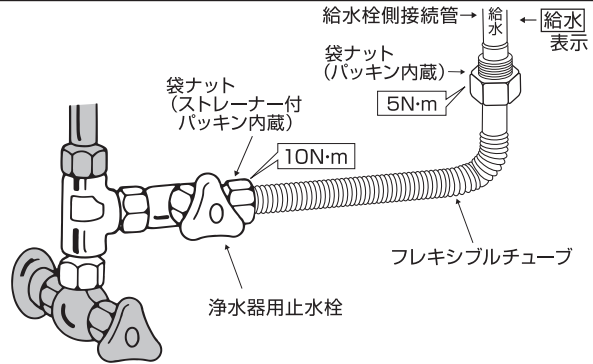
注意 付属のソフトフレキの長さは500mm(標準)です。この範囲で浄水器カートリッジを据付けてください。

### 2 浄水器カートリッジの設置



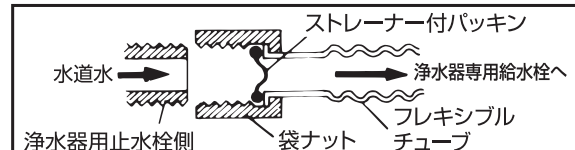
●受皿にセットした浄水器カートリッジを流し台の床に据付けてください。  
※この受皿は転倒防止用です。浄水器カートリッジは満水の状態では1.2kgになります。

## 4 配管接続方法

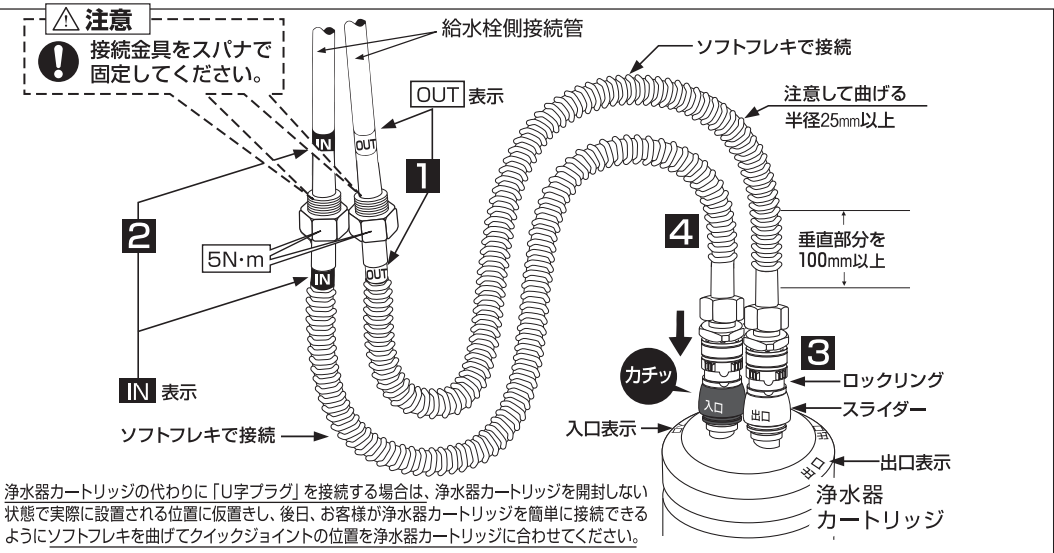


●フレキシブルチューブの片方にストレーナー付パッキンを組込んで浄水器用止水栓に接続し、もう片方を「給水」表示の給水栓側接続管に接続してください。

※ストレーナー付パッキンの締付トルクの目安は10N・mです。  
※ストレーナー付パッキンを組込む際には、下図の様にストレーナー(金網)の凸部が浄水器専用給水栓側に入り込むように取付けてください。



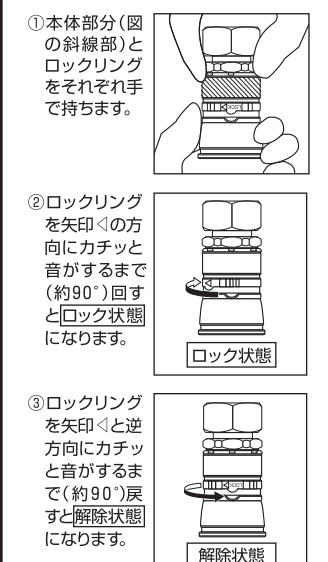
- 1 OUT表示の給水栓側接続管に、一端がOUT表示のソフトフレキを接続してください。
- 2 IN表示の給水栓側接続管に、一端がIN表示のソフトフレキを接続してください。  
※1,2の締付トルクの目安は5N・mです。(付属のゴムパッキンを使用の場合)
- 3 浄水器カートリッジの出口表示側ノズルに、出口表示のクイックジョイントを「カチッ」と音がするまでしっかりと差込んでください。
- 4 浄水器カートリッジの入口表示側ノズルに、入口表示のクイックジョイントを「カチッ」と音がするまでしっかりと差込んでください。



注意 接続金具をスパナで固定してください。  
浄水器カートリッジの代わりに「U字プラグ」を接続する場合は、浄水器カートリッジを閉封しない状態で裏面に設置される位置に位置させ、後日、お客様が浄水器カートリッジを簡単に接続できるようにソフトフレキを曲げてクイックジョイントの位置を浄水器カートリッジに合わせてください。

### ロック機構のロック・解除方法

セイフティロック機構は、クイックジョイントと浄水器カートリッジの結合時に不意にクイックジョイントが外れないようにする機構です。



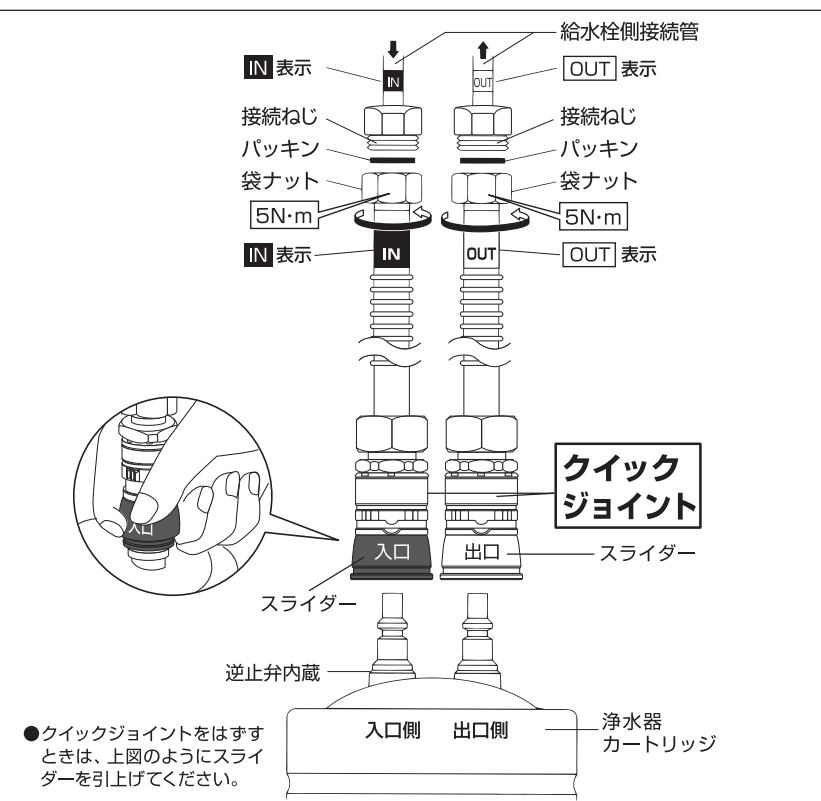
注意 ロックリングの凸部と本体部の凹部の位置が合うまで戻してください。

※あらかじめクイックジョイントを「O」状態にしても取付けは可能です。

注意 出口(O UT)、入口(I N)の接続を間違わないでください。  
ソフトフレキにはOUT(緑文字)IN(緑地に白文字)のシールを貼付しています。  
ノズル部およびクイックジョイントは清潔に取扱ってください。  
袋ナットを締付けたときは、スパナ2本を使い、接続ねじを片方のスパナで十分支えて締付けてください。この時パッキンが取付けられていることを必ず確認してください。

## 注意

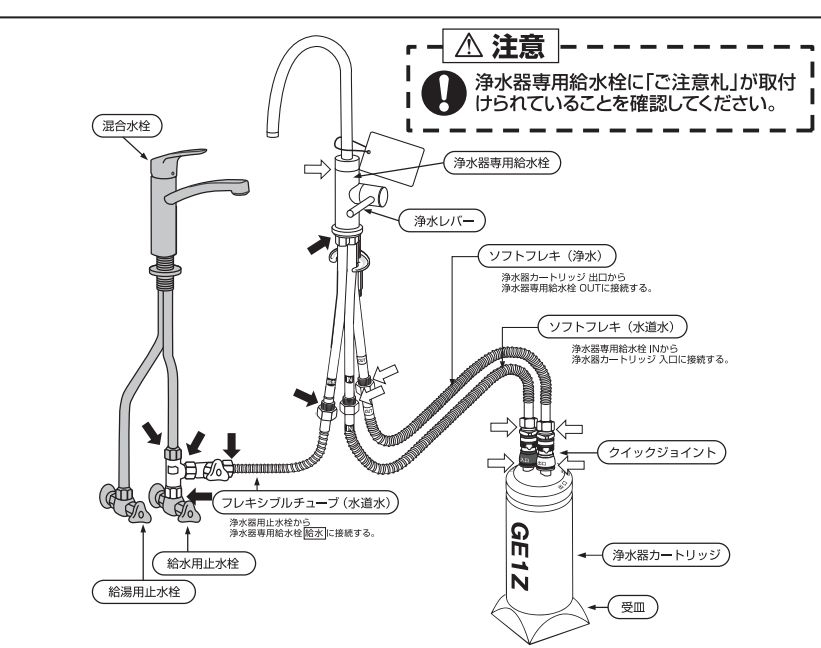
- クイックジョイントは、「カチッ」と音がするまで差込んでください。
- ロックリングを90度回転させて必ず「ロック状態」にしてください。
- 確実にセットされているか、クイックジョイントの上部を引っ張って必ず確認してください。差込みがゆるいと水漏れの原因になります。
- クイックジョイントに接続する際、ノズル部に無理な力がかからないよう次のことを守ってください。  
・上部のソフトフレキは垂直部分を100mm以上確保する。  
・ソフトフレキは半径25mm以上でゆるやかに曲げて調節する。



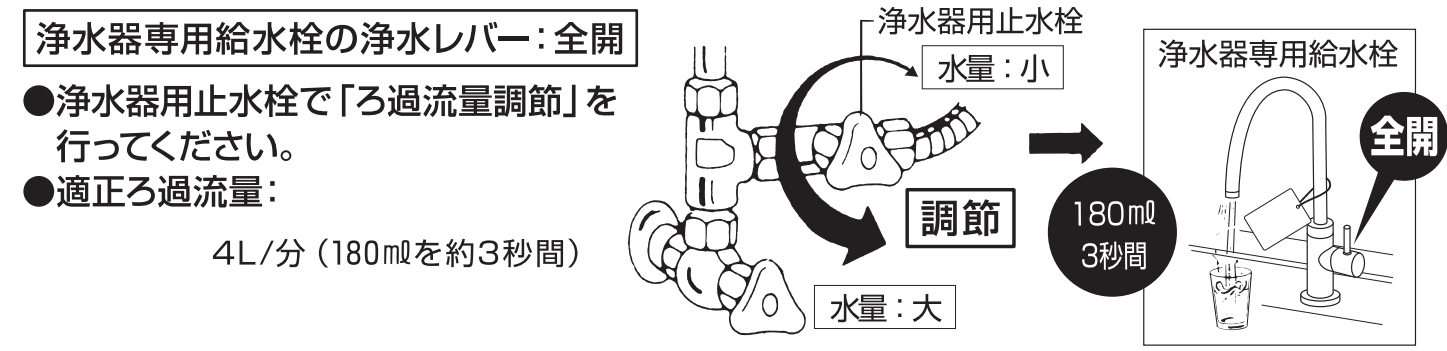
●クイックジョイントをはずすときは、上図のようにスライダーを引上げてください。

## 5 通水と水漏れチェック(取付け後の確認)

- 1 浄水器用止水栓が「閉」になっていることを確かめて、給水用止水栓を「開」にし、混合水栓の湯水レバーを「開」にして、汚れがとれるまで通水してください。汚れがとれたら混合水栓の湯水レバーを「閉」にして止水してください。
- 2 浄水器専用給水栓の浄水レバーを「閉」にし、浄水器用止水栓をゆっくりと全開にしてから、浄水器用止水栓から浄水器専用給水栓までの間に水漏れがないことをチェックしてください。(⇒右図の黒い矢印部分)
- 3 浄水器専用給水栓の浄水レバーを「開」にし、気泡が消えるまで(3分間以上)放水してください。
- 4 初期放水後、通水した状態で浄水器専用給水栓から浄水器カートリッジ、浄水器カートリッジから浄水器専用給水栓までの間に水漏れがないことをチェックしてください。(⇒上図の白い矢印部分)
- 5 水漏れチェックが終われば、浄水器専用給水栓と浄水器用止水栓を閉じてください。  
※放水時間は気泡が消えるまでの目安の時間です。多少の前後があります。



## 6 ろ過流量の調節



- 浄水器用止水栓で「ろ過流量調節」を行ってください。
- 適正ろ過流量:  
4L/分(180mlを約3秒間)

●この浄水器セットには、元止方式の浄水器専用給水栓を使用しています。一般的に浄水器と元止方式の給水栓には、浄水の出かたにおいて次のような特徴がありますが、故障ではありません。  
●開栓後、浄水が出るまでしばらくかかります。  
●閉栓後、浄水が止まるまでしばらくかかります(特に冬期は水温が下がり、よりこの現象が大きく表れます)。